

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議(ビデオ/Web/音声)システム市場専門トレンドワッチ

Vol.28 No.11 2026年6月15日

製品サービス動向-国内

■ ナイスモバイル：Notta と協業し、MAXHUB「All in One Meeting Board」で専用オプション「MAXHUB AI 議事録」を提供開始

(PRTIMES：5月22日)

ナイスモバイル株式会社 (<https://nicemobile.jp/>) (長野県松本市) は、AI 文字起こしサービス「Notta」を提供する Notta 株式会社 (<https://www.notta.ai/>) (東京都千代田区) と協業し、MAXHUB「All in One Meeting Board」の新たなオプションとして「MAXHUB AI 議事録」を5月22日より提供開始する。



MAXHUB AI 議事録 (ナイスモバイル)

企業における会議は、意思決定や情報共有に欠かせない。一方で、会議後の議事録作成や要点整理、関係者への共有は大きな業務負担となっている。昨今では、会議中の記録からその後の情報共有までを含め、企業における AI を活用した会議運営のニーズが高まっているという。

ナイスモバイルは、これまで国内累計販売台数25,000台以上の実績を持つインタラクティブホワイトボード「MAXHUB「All in One Meeting Board」を中

心とした会議室向けデバイスを通じて、会議の効率化や生産性の向上を推進する「会議 DX」を推進してきた。

会議運営へのニーズを背景に、同社では会議 DX をさらに進展させた「会議 AX (AI トランスフォーメーション)」を推進する取り組みとして、Notta 株式会社との協業を実現。MAXHUB All in One Meeting Board 上で AI 文字起こし機能を利用できる新オプション MAXHUB AI 議事録を新規のお客様にはもちろん、これまでに同商品を導入したお客様に向けて提供開始する。

今回提供開始する MAXHUB AI 議事録は、MAXHUB All in One Meeting Board と組み合わせることで、会議における AI 活用をより身近にし、会議の記録・要約・共有までの一連で支援する専用オプションとなる。会議中の発話内容をリアルタイムで文字起こしし、会議終了後には AI が要点を自動整理する。対面会議だけでなく、WEB 会議やハイブリット会議にも対応している。



▲自動文字起こしの様子



▲自動翻訳の様子

自動文字起こし (上)、自動翻訳 (下) イメージ
(ナイスモバイル)



▲要点を自動で抽出する様子

要点を自動で抽出する（ナイスモバイル）

会議中の発話をリアルタイムで自動文字起こしが可能。58言語対応・話者識別機能により、手書きメモや録音の聞き返しに頼ることなく、幅広い会議体にて会議内容をスムーズに記録できる。

AI が会議の要点を自動で抽出し、議事録作成をサポート。会議後のまとめ作業や共有資料作成にかかる時間を削減するだけでなく、本来の業務へ集中できる環境を支援する。加えて、会話内容を分析し、「誰がどれだけ話したか」などを可視化することで、会話の偏りやコミュニケーション状況を把握できる。

AI へのデータ学習を行わない仕様のため企業利用においても安心して導入できるようになっている。

議事録データは PDF・WORD・TXT 形式で出力可能で、Notion や Slack など各種ツールへの共有にも対応している。

5月22日より発売。販売価格はオープン。

ビジネス動向-国内

■Insta360 Japan : Insta360 Wave:が「家電批評」ベストバイを受賞

(PRTIMES:6月11日)

Insta360 Japan 株式会社 (<https://www.insta360.com/jp/>) (東京都中央区)は、AI スピーカーフォン「Insta360 Wave」 (<https://www.insta360.com/jp/product/insta360-wave>) が家電専門誌「家電批評」にてベストバイを受賞したと発表。

Insta360 Wave は、会議、インタビュー、オンラインミーティングなど、ビジネスシーンでの音声収録と情報整理をサポートする AI スピーカーフォン。USB-C、Bluetooth 5.2、ドングル接続に対応し、さまざまなデバイスと簡単に接続できる。

本体にはタッチスクリーンを搭載し、録音や音量調整などの操作も直感的に行える。

最大 5m の收音距離に対応し、会議室内の複数の発話者の声をしっかりと捉えることができる。360° 全方向からの收音に加え、会議シーンに応じた複数の收音パターンを備えており、円卓会議、対面での打ち合わせ、オンライン会議などさまざまなビジネスシーンで活用できるようになっている。

また、ノイズ抑制機能により、周囲の雑音を抑えながら、発話者の声をクリアに届けることが可能となっている。レビュー内でもマイク性能やノイズ抑制性能について高い評価を獲得している。

Insta360 Wave は、会議音声の録音だけでなく、AI による文字起こしや要約にも対応している。会議内容を後から確認しやすくすることで、議事録作成や上場共有にかかる時間を削減する。

そのほか、話者の自動追跡、デスクビューモード、ホワイトボードモードなど、会議やプレゼンテーションに便利な機能を搭載している。資料共有や発表シー

ンでも活用でき、対面・オンラインを問わず、よりスムーズなコミュニケーションをサポートしている。

加えて、別売りの Web カメラ「Insta360 Link 2 シリーズ」「Insta360 Link 2 Pro シリーズ」と組み合わせることで、映像を活用した会議体験をさらに拡張できるようになっている。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー（6月）

「現代の IT システムにおけるテスト戦略の重要性」「会話+AI アバター」で変わる顧客体験」「商談を自動採点！Zoom と AI で構築する最強のセールスプロセス」など多数
会場：オンラインセミナー

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2026年6月15日号おわり

ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp